

2021年度 北海道地区懇話会 活動報告

オンラインシンポジウム「子どもたちの『日常』—地域研究から考える—」の開催

2021年8月9日（月・振替休日）、Zoom ウェビナーを利用して、「子どもたちの『日常』—地域研究から考える—」というテーマで、国内研究交流委員会北海道地区シンポジウムとの共催にて開催した。話題提供者として、山下智也氏（北九州市立大学・准教授、会員）より「商店街にある遊び場の事例から」、道信良子氏（札幌医科大学医療人育成センター・准教授、非会員）より「子どものいのちの育ち・育みと『地域』」、長津詩織氏（名寄市立大学学保健福祉学部・講師、非会員）より「発達を捉える視点の地域的固有性：へき地保育所の事例から」というテーマでそれぞれ報告があった。

指定討論には、発達心理学的な視点から陳省仁氏（光塩学園女子短期大学・教授 / 北海道大学・名誉教授、会員）、教育行政学的な視点から篠原岳司氏（北海道大学大学院教育学研究院・准教授、非会員）からコメントがあった。

136名から申し込みがあり、当日も100名を超える参加で盛況であった。